

令和4年8月8日

瀬戸内市議会議長

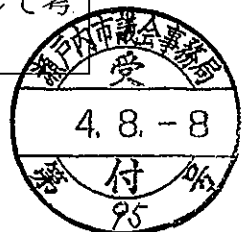
廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 川勝 浩子

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和4年8月1日～令和4年8月2日
研修会名	令和4年度「第2回市町村議会議員特別セミナー」
開催場所	全国市町村国際文化研修所
研修目的・内容	<p>1 「政策に強い議会をつくるー討議する議員・役立つ議会」 磯崎 初仁（中央大学副学長、法学部教授）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地方議会の政策形成強化のための、4つの戦略</li><li>① 議員の政策力の強化。② 議員間討議の拡充。</li><li>③ 議会内の政策検討の体制作り。④ 住民・有識者の意見反映。</li></ul> <p>2、「市町村における脱炭素のススメ」 藤野 純一（公益財団法人地球環境戦略研究機関上席研究員）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長野における脱炭素の取り組み例。</li><li>・世界の温暖化対策の潮流について。</li></ul> <p>3、人口減少時代における地域創生を進めるポイント 牧瀬 稔（関東学院大学法学部地域創生学科准教授）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・そもそも地方創生とは何か。</li><li>・日本の将来人口推計を知り、人口減少を勝ち抜く視点を。</li></ul> <p>4、自治体DXの基本と議会の役割 菅原 直敏（磐梯町最高デジタル責任者）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自治体DXとは何か、そして進める理由を理解した上で、事例（福島県磐梯町や栃木県、愛媛県などの取り組み）を通して考える。</li></ul>



所 感

コロナ禍のため、会場参加には戸惑いもありましたが、オリエンテーションの中止など、人との接触を極力控えたうえ細かい配慮もあり、安心して講義を受けることが出来ました。

講義は、それぞれ第一人者の先生の専門的な深い講義でした。

1 の講義では、地方議会の政策形成強化には、議員の政策力強化がまず一番。それは、議員活動の中で養成する、議会・会派として研修を実施、個人として自己学習に取り組むことである。どこまでも自身の知識を深めていきたい。

2 の講義では、長野の取り組み例は、行政よりも住民が行政を引っ張る形で進んでいる。これは住民の方の地域を良くしたいとの意識の高さと住民への説明が細かく出来ているからだと思いました。どの政策においても、住民をしっかりと巻き込むことの大切さも学びました。

3 の講義。地方創生とは簡単に言うと、人口減少を克服して地域を活性化すること。人口を増やすために次の次の世代を見据えて、どこまでターゲットを絞って取り組むことができるかがポイント。未来の目標を明確にしての話し合いが必要だと思いました。

4 の講義では、DXとは、住民サービスの向上を主な目的として、デジタル技術を用いて新しい価値を生み出したり、仕組みを変えることと教えて頂きました。このことは、自分自身が全くの不得意なので、もっと勉強する必要があると痛感しました。

それぞれの講義を再度見直すことにより、これからの活動にいかしていきたいと思います。